

英語科「Practice Reading」

【内容】ロイロノートを活用し、英文のリーディングをカードの録音機能を使って提出し、鑑賞した。

【使用アプリ】ロイロノート、デジタル教科書 など

【事例紹介】 新出文法「助動詞must～しなければならない、mustn't～してはいけない」の学習において、きまりやルールを表現する際にロイロノートを用いて録音した。生徒は自分のレベルに応じて課題を選ぶことになっている。英語が得意な生徒には、自分で英作文して録音させ、苦手な生徒には、自分のペースに合わせて英文を選び練習してリーディングの録音をできるようにした。授業のまとめとして、主体的・対話的な学びの観点から、録音したものをみんなで共有し、確認し合う時間を設けた。

自分のレベルに合わせて
課題を選ぶ



自分の作った文章と
録音した音声を共有

【実施しての効果・感想】

実際に自分の声で読んで内容を録音したものを改めて聞くことで、自分の理解度を客観的に推し量ることができるメタ認知的な要素もあり、今後も続けていきたい。また、クラスメートの英語をみんなで聞くという体験も生徒にとって新鮮な様子であり、意欲的な学習につながっているように思う。生徒の名前がスクリーンに表示されるので、気にする様子の生徒もいたが、後日、無記名にできる機能があることが分かったので、今後は利用してみたい。

☆教育委員会主幹講評☆

今回はロイロノートを活用し、一人一人の理解状況に合わせ、個別最適化された学びを実現した報告事例です。個々の状況に合わせて課題を選び、学習のまとめを個々の端末に録音した音声で共有するといった主体的・対話的で深い学びを実現するICTの使い方ができています。ロイロノートの録音機能の有効活用で、メタ認知能力を高め、問題解決能力や目標達成能力の向上にもつなげることができました。また、授業者が新たな課題に気づき、今後の改善につなぐことができたのも素晴らしいです。